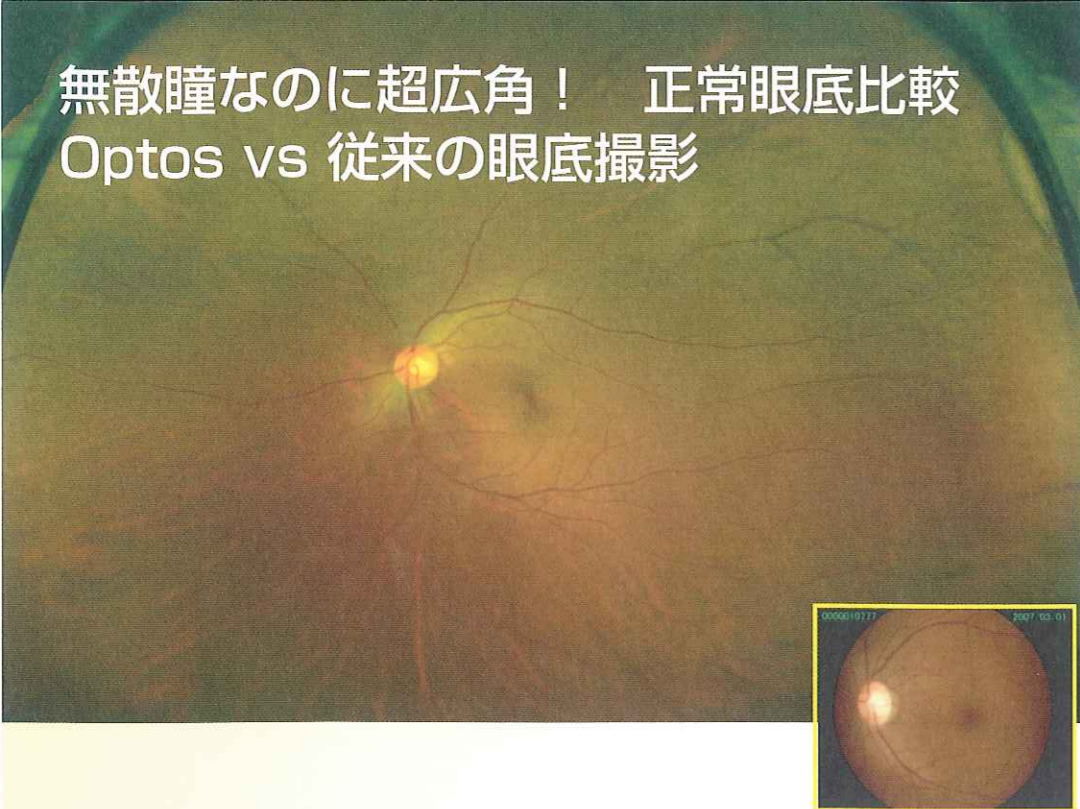


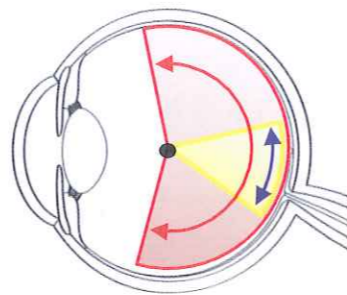
# 無散瞳なのに超広角！ 正常眼底比較 Optos vs 従来の眼底撮影



## Optos (オプトス)

最新の走査レーザー検眼鏡(SLO)で、眼底写真を撮影。従来の眼底カメラの画角が45度なのに対し、Optosは画角200度と広範囲を**無散瞳**で撮影。1枚の写真の情報量が飛躍的に向上します。

### 画角 200° vs 45°



## 蛍光眼底造影でも

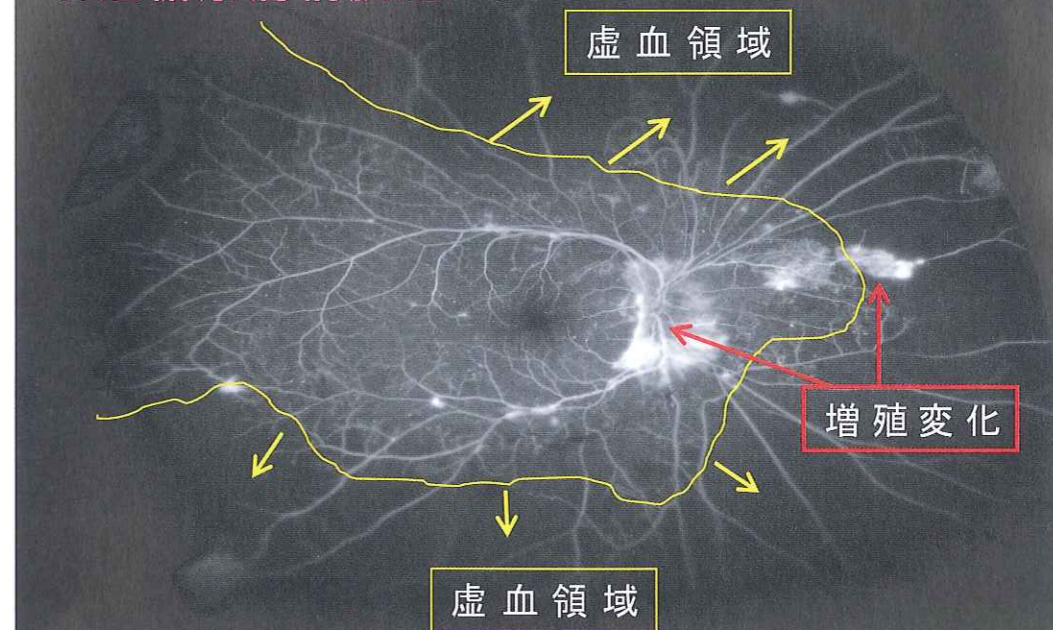
### 負担軽減！

従来の眼底カメラでは眼底をくまなく撮影するために40枚近くの撮影を患者さんに目を動かしてもらって360度撮影しましたが、Optosなら1枚の情報量が多いので、数枚の撮影で済みます。「白内障が強いから造影剤の検査ができないと言われた」という方もOptosでは検査可能でした。

### 蛍光眼底造影の検査とは？

フルオレセイン造影剤を使った検査は、多くの眼底疾患の診断、治療方針の決定、治療効果の判定に用いられます。

## 増殖糖尿病網膜症

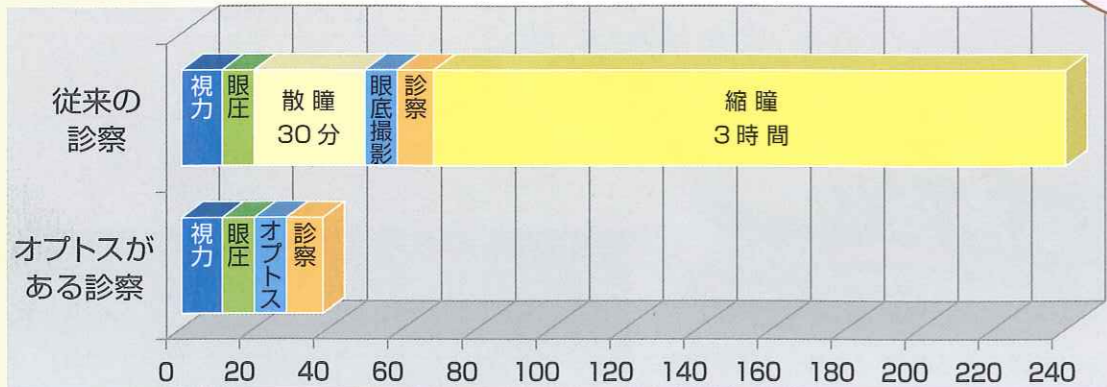


糖尿病の合併症として最も重要なものの1つ！わが国でも成人の失明原因の上位。糖尿病性網膜症の経過は極めて慢性で、通常網膜症の発症に気づきません。定期的に眼科で眼底検査をすることが大切です。

# 診療革命！ Optosが診療の常識を変える！

## 従来の診察との違い

眼底検査は患者さんご本人にも、ご家族の方にも負担が大きいものでした。Optosなら負担がぐんと減ります！



今日は眼底検査の日だから、仕事を休むしかないな……



検査後すぐ仕事ができるぞ！



眼底検査をすると車の運転ができないから、送迎を家族に頼まなくちゃ



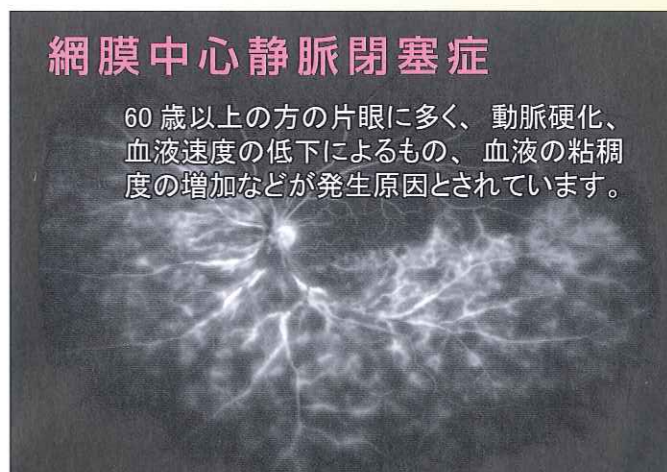
ここに顔を付けて撮影します



正しい位置での撮影でこそ鮮明な画像が得られます！痛かったり苦しかったりしたら遠慮なく言って下さいね！撮影はわずか**0.3秒!!**

## 網膜中心静脈閉塞症

60歳以上の方の片眼に多く、動脈硬化、血液速度の低下によるもの、血液の粘稠度の増加などが発生原因とされています。



## 網膜剥離



初期は飛蚊症、進行すると視野の欠損を自覚

## 散瞳検査とは・・・



検査用散瞳剤を点眼し、約30分後には図2のように瞳孔が開きます。通常、縮瞳図3の状態に戻るまでに約3時間かかります。

散瞳検査を行う患者様には見辛くなってしまうので、色付きサングラスをご持参いただくか、お車の運転を避けていただいております。

Optosは瞳孔径わずか2mmでも眼底写真が撮れるすぐれモノなのです。



**注意）**下記の症例の方は基本的に散瞳検査が必要です  
網膜剥離／裂孔レーザー後／硝子体術後（特に3月以内）／飛蚊症／眼底不透見症例・・・等